

## 第2回 富良野市文化財保護審議会 顛末

と き 令和5年9月14日(木) 9:30~12:00

ところ 富良野市街地、島の下墓地、鳥沼公園、東山やなぎ

出席者 委員：杉浦重信、永盛俊行、芝野伸策、石黒誠

事務局：生涯学習センター所長 澤田 健、同職員 泉 団

### 1. 開会挨拶

杉浦委員長より開催のご挨拶

### 2. 文化財視察

#### ①SLフラヌイ号

本年7~8月に16年ぶりに塗装。塗装完了の状況を確認。8/5開催した塗装体験と太陽財団の助成について看板に記銘の点を報告。また今後の維持管理の変更点なども報告(鉱物系の油から植物由来の油に変更)。10分ほど視察。

#### ②島の下・新四国八十八ヶ所霊場石仏(島の下墓地)

昭和4~16年頃までに、島の下墓地にあった大師堂周辺に奉納された新四国八十八ヶ所霊場石仏53体を見学。昭和45年に墓地の上り口に移転安置されたもので、廃業した佐々木石材が彫刻、石材は御料地産の優白岩を使用。地場の優白岩を用いた彫刻は非常に稀で貴重でこの点を共有。15分ほど視察。

#### ③島の下神社の狛犬

道内では稀な出雲構え型の狛犬で、地元の佐々木石材ないし上川地方の石工の手による彫刻と推定されるもの。昭和15年の皇紀2600年に奉納。出雲の狛犬は獅子舞の獅子頭に似た風貌で、本例も同様だが立ち耳の点、石材が凝灰岩(札幌軟石と推定)である点が異なり、地場産と考えられる所以。10分ほど視察。

#### ④鳥沼公園ハンノキの林

乾燥化が進行する鳥沼公園の湿地林を視察。泉学芸員が水位測定計で水位を測定(雨天のため地表面から6cmだったが近年は30cmほどが多い)。湿地に設けられた排水路の状況を確認、道路公園係の協力によりU字溝撤去予定(来春か)。20分ほど視察。

#### ⑤旧東大演習林東山発電所

昭和14年建造の製材工場用の発電所。沈砂池や水路などの比較的大型のコンクリート構造物が遺構として残る。昭和29年に廃止。上屋はのぎく会館として移築転用。15分ほど視察。

### 3. 報告事項

#### (1) SLフラヌイ号D51954の塗装委託(視察先で説明)

・SL塗装体験会 8月5日(土)10:00-11:00 11名参加 \*午前の部のみ実施

#### (2) 島田家住宅の国登録有形文化財登録申請の状況(車中で説明)

文化庁より登録名称変更の確認あり。「島田家住宅」⇒「島田家住宅主屋」

#### (3) 鳥沼公園のハンノキの林湿地林の保全(視察先で説明)

- ・ 7月27日(木) 市建設水道部都市施設課道路公園係との意見交換
- ・ 富良野の自然に親しむ会で水路位置の調査後、道路公園係の直営で試験的にU字溝の一部を撤去予定 ➡ 排水量の軽減、雨水の地下浸透促進

#### 4. 今後の予定

##### <第3回委員会>

1 1月中旬に生涯学習センターで予定。

- ・ 事業の経過報告
- ・ 前回視察結果の意見交換
- ・ 視察先候補の意見交換
- ・ 次年度以降の調査計画